

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和7年10月15日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会 派 名 公明党議員団

代表者名 松橋 尚文



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受 命 者	松橋尚文 河合初恵 松原慶子 月田光明
出 張 先	① 大館市 ② 大館市 ③ 船橋市
期 間	令和7年10月6日 ～ 令和7年10月8日 (3日間)
用 務	① 大館市旧山田小学校の廃校舎の利活用 ② ふるさとキャリア教育 ③ 船橋市まちかど音楽ステージ
調査(研修) 結果等の概要	別紙にて報告 政務活動等報告書
備 考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

「秋田県大館市 旧山田小学校の廃校舎の利活用」

訪問日時：令和7年10月6日（月）午後3時～4時30分

訪問先：（株）しらかみフーズ

面談対応：しらかみフーズ 代表取締役 夏井雅人氏・大館市総務部管財課 課長 宮崎直人氏
同課管財係 係長 佐藤淳氏

主な内容

山田小学校は平成20年に廃校した学校ですが、平成21年から（株）しらかみフーズさんに有償貸付されて、廃校後の利活用がされている。

（株）しらかみフーズの夏井社長は大館市出身で、何か事業を起こして故郷の活性化に繋がたいという熱い思いで市に相談。当時の市長と協議し、生ハム工場を立ち上げた。

初出荷は平成23年。一時、テレビで取り上げられた事で、2年間爆発的な売り上げがあったようだが、在庫がなくなるなど苦労されたとのことだ。

大館市では平成18年以降、小学校、中学校合わせて19校が廃校している。その事から何とか空き校舎の利活用を進めていこうと、（株）しらかみフーズさんの進出を機に、平成24年に大館市空き公共施設等利活用促進条例を制定し、学校を始め、公共施設の利活用のための増築改築のための助成金、事業開始時の支援金、固定資産税の免除などの支援に乗り出し、これまで3件の空き校舎と1件の空き保育園の利活用が進んでいる。

4件のうち2件は、県外からの進出で、雇用拡大や地域への貢献が行われていた。

釧路市も空き公共施設があり、学校の統合も予定されていることから、非常に参考になった。



添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

「秋田県大館市 ふるさとキャリア教育」

訪問日時 : 令和7年10月7日(火) 午前9時～同10時30分

訪問先 : 大館市立川口小学校

面談対応 : 同校校長 荒川 務氏他(別紙に名刺添付)

主な内容

○同小学校の全学年及び特別支援学級の授業を参観した。

どの教室においても、大館市が取り組む共感・協働型の授業が行われており児童の高い集中力が印象的。
また、児童間の声掛け・反応、返事や挙手等の態度に規律性が徹底していた。

○以下の教育指導の重点を具現化させた授業レベルが標準化された姿に目を見張った。

- ①ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化
- ②大館ふるさとキャリア教育の充実
- ③おおだて型授業(響学)の深化

○校長から、同校の学校経営について説明をお聞きした

今年度の重点キーワードは「心つないで」

ステップ1 大館型学力を育てる授業の創造

ステップ2 夢や目標をもち、地域を支える誇りと気概を育てる活動の充実

ステップ3 主体性と思いやりの心を育む教育活動の充実

ステップ4 児童の将来を見据えた特別支援教育の充実

○市教委教育監から、ふるさとキャリア教育について概要をお聞きした

- ・「少数精鋭の街 大館」構築のため「未来大館市民の育成」に焦点を絞る
- ・ふるさとキャリア教育の3本柱「百花繚乱作戦」「未来人材育成プロジェクト」「おおだて型授業」の充実・深化に取り組む
- ・具体的には、大館盆地を学び舎にして市民一人一人が先生となって子どもを育てる
子どもサミットで地域社会と、子どもハローワークでは企業・団体と繋がり連携する

○高橋善之前教育長が15年間にわたって構想し磨き上げてきた「大館ふるさとキャリア教育」が、
新教育長の下で各学校が更に進化させようと取り組んでいる一端に触れ、改めて深く感銘した
また、これまでの釧路市との教育交流について御礼を申し上げるとともに、引き続き今後においても
有益な交流継続をお願いした



添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

「まちかど音楽ステージ」

訪問日時：令和7年10月8日 午前10時～11時30分

訪問先：千葉県船橋市

面談相手：船橋市議会議長 岡田とおる氏・船橋市教育委員会 生涯学習部 文化課 課長 阿部健一郎氏・同課長補佐 和田直樹氏

平成26年（2014年）から開催が始まった「まちかど音楽ステージ」と「ふなばしミュージックストリート」は、その前段に30年以上続いている「千人音楽祭」がある。

この千人音楽祭（子どもたちの未来につながる音楽祭）」（入場料：無料）は、平成6年に船橋アリーナ落慶記念行事をきっかけとして、その他の音楽イベントも開催するなかで「ふなばし音楽フェスティバル」を通して「音楽のまち ふなばし」の定着を図っている。

「まちかど音楽ステージ」が市の公認事業なのは、現市長の一期目の選挙公約であった、駅前や商店街などの「まちかど」をステージにすることで、音楽を通じてまちの活性化を図り、地域に根差した音楽家の支援を目指すため、これまで「まちかど音楽ステージ」を続ける中で、特段問題なく継続できているとのこと。

「まちかど音楽ステージ」を通じて、演奏者同士がつながり、独自のコラボステージも実施されている。

「千人音楽祭」は、市で1000万円（会場費200万円含む）を交付金として補助、それに加え協賛金を合わせて実施。

「ふなばしミュージックストリート」は、市で300万円を交付金として補助し実施。

「まちかど音楽ステージ」の概要

開始時期：平成26年4月11日～

開催頻度：5月～12月にかけての第2・4金曜（祝日及び年末年始を除く）

全16回実施予定

開催時間：午後6時～午後8時30分

開催場所：京成船橋駅と船橋フェイスビルの連絡デッキ

1組の持ち時間：30分（準備時間を含む）

登録者数：194組（令和6年度末時点）

